

ひらまつ病院

Hiramatsu Hospital

No. 12-040-2015作成

新築
病院

発注者	医療法人 ひらまつ病院	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. /FB			
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
施工	大成建設株式会社		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他			

まちなみに調和しながら地域の顔となる病院



南側から望むひらまつ病院

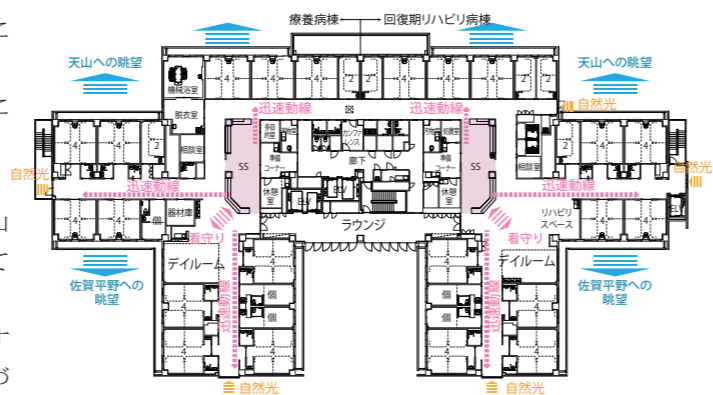
地域に親しまれ、自然との融合した病院

本計画は、佐賀県小城市に位置しており、本敷地より北側の方に1kmほど先にあるひらまつ病院の新築移転計画である。

原病院は1983年に建てられ、老朽化していることもあり本計画に至っている。

立地としては佐賀の山並み（天山）を背景に背の高い建物もなく、空のひらけた立地となっているため、自然の光を取入れ、山並みの景色と融合し、よりよく快適な病院環境の創出を心がけている。

また、交通の便でも県道44号線に面しており、アクセスもしやすい環境にあるため、広い駐車場を設けアプローチもし易い空間づくりとなっている。



病棟階平面図

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	PAL削減 13.9 %	B+ランク	
竣工年	ERR (CASBEE準拠) 19.9 %	BEE=1.1	
敷地面積	LCCO ₂ 削減 15.0 %	2008年度版 第三者認証	
延床面積			
構造			
階数			

開放的なリハビリガーデンと自然採光

ひらまつ病院はリハビリに力を注いでいる病院でもあることから、開放的なリハビリガーデンを設置し、その空間を生かすことにより、建物内に自然の光を取入れている。

エントランスホールに吹抜け空間をつくることで、リハビリガーデンからの採光を取入れ、明るく快適なエントランス空間を創出している。

また、リハビリガーデンからだけではなく、外来待合ホール、病棟アートボード空間、会議室等にも自然光が差し込むよう配慮しており、建物全体が自然光を活かした計画としている。

これにより、明るく快適な省エネルギーな空間の形成を実現している。

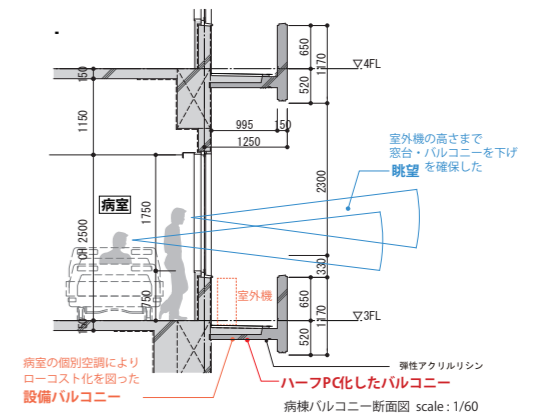
夏の日差しを遮蔽するメディカルバルコニー

室外機を設置するメディカルバルコニーを活かし、夏の日差しを避けながらも眺望を確保でき、採光の入る計画を実現させました。これにより、患者さんがベッドで横になり夏の日差しで眩しさを感じる事なく、更には室外機、窓の腰壁、バルコニーの高さを統一することで南側には佐賀平野、北側には天山という佐賀県を代表する自然の風景を眺望できるよう配慮し快適な療養空間を実現している。

また、メディカルバルコニーをハーフPCで製作することにより、ローコスト化を図りながらも快適な空間を創出している。



自然採光を取り込むリハビリガーデン



地域と病院をつなぐシンボル「コミュニティ・アート」



コミュニティ・アート

小城の将来を担う児童2600名に将来の夢を描いてもらい『桜』をモチーフとしたアートを作成し、各階のエレベータホールに展示しました。児童達の夢が人々の目に留まり、地域と病院をつなぐシンボルとなっている。



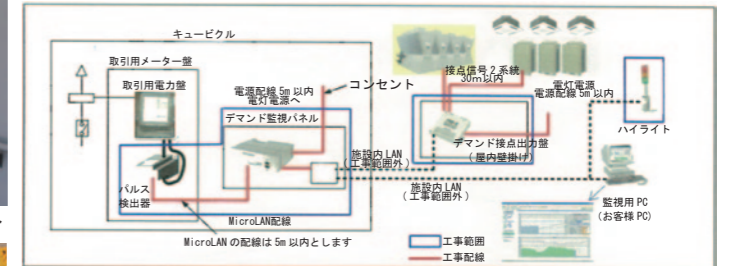
児童の夢を描いたプレート

設計担当者

統括：松村正人／建築：河合義之、石渡友輔／構造：中川路男、藤野宏道、五十雄雄高、設備／堀雄二、石村佳子、加藤勇太

空調機デマンド制御による省エネ対策

空調機をデマンド制御により、設定した目標値を超えないよう制御し、優先順位の高い室内機から順番に制御を行い、快適性をできるだけ維持しながら使用電力量のピークを抑えている。これにより、電力使用量を約10%削減を実現し、ライフサイクルコストを削減している。



パルス検出器の取付は電力会社の立会が必要です

デマンド レベル	制御内容	動作条件
レベル1	室内ユニット制御	室温シフト(±2℃) 例) 冷房26℃で運転中 省エネ制御時にプラス2℃での28℃に変更
レベル2	室外ユニット制御	室温シフト(±2℃) 例) 冷房26℃で運転中 省エネ制御時にプラス2℃での28℃に変更
レベル3	室外ユニット制御	室温シフト(±2℃) 例) 冷房26℃で運転中 省エネ制御時にプラス2℃での28℃に変更

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (地域種の採用)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (地域小学校との共同アート製作)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (地域に密着した総合病院)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (リハビリガーデンを使った自然採光)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (LED照明の採用)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型機器の採用)